



# おおあし

第1号

《 大芦小HP <https://oashi-e-konosu.edumap.jp/>  》

## 学校で、なぜ学ぶのか

～人との関わり合いの中で、人は成長する～

うららかな春の日差しに包まれて、街や庭の草花が一齐に咲き誇り、様々な生命の息吹を感じられる季節となりました。本日は、お子様のご入学そしてご進級、誠におめでとうございます。

この度、横尾 臣 校長先生の後を受け、第15代校長として大芦小学校に着任いたしました杉山 賢次（すぎやま けんじ）と申します。縁あって、本校の明るく元気な子どもたちの成長に携われますことを、大変嬉しく思っております。

令和7年度は、新たに10名の新入生を迎え、全校児童103名（7学級）で新学期をスタートすることができました。

学校教育目標である「自分から意欲的に活動し、心豊かでたくましい大芦小の子を育てる」に向けて、今年度も引き続き、目指す学校像を『大芦大好き！みんなの笑顔が輝く学校』とし、児童の笑顔が輝くことはもちろんのこと、保護者も、地域の方々も、そして教職員も笑顔で生活できる学校を目指し、全教職員で真摯に教育活動に取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、表題に書かせていただいた「学校で、なぜ学ぶのか」とは、昔私がある研修会に参加したときに、指導者から投げかけられた言葉です。正直、そのとき自分は「学校で学ぶのは当たり前、学校は勉強をするところだから」と単純な答えを出していました。しかし、その後「これだけ科学技術が発達している中、いずれICTの活用が当たり前の世の中になり、学校へ行かなくても学ぶことができる世の中になるかもしれない。学校で学ぶ必要がありますか？」と問われたことを今でも覚えています。

そのときの自分は恥ずかしながら、答えを出すことができませんでした。今ならはっきりと「学校で学ぶのは、一人ではなく、多くの人と関わり合いながら学ぶためだ」と答えられると思います。学校での学びは、国語や算数など教科に限らず、友だちをはじめ、先生方や地域の方など、多くの人と関わり合って生活する中で、コミュニケーションの大切さや他の人の良さ、社会のきまり、礼儀など多くのことを学んでいきます。人と人とが直接ふれあい、関わり合う中で人として成長することに「学校で学ぶ」大きな意味があると私は捉えております。

これから、新しい学年・学級がスタートしますが、ぜひ子どもたちには、多くの人たちとの関わりの中で成長を遂げてほしいと願っております。

今後も、家庭・地域のご支援をいただきながら、地域の宝である子どもたちを育てていきたいと考えております。引き続き、本校の教育活動に、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校教育目標	自分から意欲的に活動し、心豊かでたくましい大芦小の子を育てる
目指す児童像	進んで学ぶ子（知育） 思いやりのある子（徳育） やりぬく子（体育） （意欲いっぱい） （笑顔いっぱい） （元気いっぱい）
目指す学校像	大芦大好き！ みんなの笑顔が輝く学校
学校経営方針	確かな学力を身につけた、自立した子どもの育成を目指す。【自立】 全教職員が協力し合い、団結して教育目標の実現を果たす。【団結】 家庭・地域と連携を深め、地域に根差した教育を行う。【連携】 命を大切にする教育を進める。【生命】

（校長 杉山 賢次）